

# おごおりのとしょかん



令和7年度図書館要覧

小郡市立図書館

## 目次

1. 市勢の概要	1
2. 沿革・あゆみ	1～5
3. 施設の概要	6
4. 運営方針	7
5. 組織・職員体制	7
6. 図書館サービス	8
7. 予算	9
8. 資料	10
9. 利用状況	11～15
10. 図書館実績	16～19
11. 小郡市図書館協議会	19
12. 雑誌タイトル一覧	20～21
13. 小郡市立図書館サービス基本方針	22～25



### 表紙の写真について

11月27日に、小学生を対象に「お部屋のプレート作りませんか？」講座を行いました。参加した子どもたちは、「ウェルカム」プレートと「クリスマス」プレートのどちらかを選んで、「お花」や「プレゼント」などお気に入りの飾りを描いて作っていました。

# 1. 市勢の概要

小郡市は、福岡県の南西部、佐賀県鳥栖市に隣接した面積45.51㎢の緑豊かな田園都市です。市の中央を南北に筑後川支流の宝満川が流れ、それに平行して西鉄天神大牟田線が走り、令和6年6月9日には、九州自動車道『小郡鳥栖南スマートインターチェンジ』が開通しました。

福岡まで30分、久留米まで10分という便利さから近年市の北部を中心に新興住宅が広がり、現在九州でも最大規模の住宅地が北部の筑紫野市にまたがって広がっています。

また「人が輝き、笑顔あふれる快適緑園都市・おごおり」として活気あふれた前進を続けています。

○人口（令和7年4月1日現在）

総人口／59,463人

男／28,206人

女／31,257人

世帯数／26,462世帯

・市の木 くすのき

・市の花 ふじ

・市の鳥 しらさぎ



# 2. 沿革・あゆみ

## 小郡市立図書館

1970年(S45)4月 新設の小郡町中央公民館に、公民館図書室を設置

1972年(S47)4月 市制施行

1974年(S49)4月 新設の小郡市体育館に公民館図書室を移設

<昭和59年度>

1984年(S59)12月 九州芸術工科大学に文化会館・図書館・野田宇太郎文学資料館を内容とする建設基本計画の検討を委託（昭和60年3月提出）

<昭和60年度>

1985年(S60)4月 小郡市ふるさとカルチャーセンター（仮称）建設委員会（会長：助役）を設置し、以後随時11回開催

九州芸術工科大学により基本設計開始

12月 小郡ロータリークラブより移動図書館車寄贈

1986年(S61)3月 施設の総名称を公募により「小郡市民ふれあい広場」に決定

<昭和61年度>

1986年(S61)4月 小郡市民ふれあい広場設置準備室を設ける。

5月 小郡ロータリークラブによる一人一冊運動の図書寄贈

千葉県浦安市立図書館に職員派遣研修を開始（以降5名を各々1か月派遣）

8月 本体建設工事着工

<昭和62年度>

1987年(S62)7月 移動図書館車「しらさぎ号」運行開始

ステーション数は、当初12か所（令和5年4月1日現在27か所）

9月 本体建設工事竣工

市体育館から中央公民館の設置準備室に公民館図書室を移設

西鉄小郡駅前に返却ポストを設置し、以後、三国JA倉庫前、西鉄三国が丘駅等に設置（令和5年4月1日現在6か所）

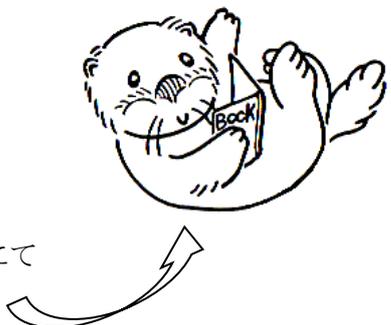
10月 小郡市民ふれあい広場設置準備室を文化会館と図書館に機構変更して配置

11月 市制施行15周年記念式典と併せて、小郡市民ふれあい広場落成式典を開催  
文化会館と図書館とを開館（3日）

- 1988年(S63) 2月 第1回小郡市図書館協議会を開催  
 <昭和63年度>
- 1988年(S63) 7月 「小郡市民ふれあい広場」館報発行(以後年4回発行)  
 10月 移動図書館車による病院貸出開始(令和5年4月1日現在現在3か所)  
 11月 総貸出冊数が25万冊達成  
 開館1周年記念文化講演会(木元教子氏)
- 1989年(H元) 2月 移動図書館車「しらさぎ号」新車買換(2代目)  
 3月 久留米・鳥栖・小郡・基山三市一町の図書館協力発足  
 サミット連絡車運行開始
- <平成元年度>
- 1989年(H元) 4月 福岡県立図書館配本車運行開始  
 団体貸出を開始  
 8月 中華人民共和国浙江省余姚市図書館を林雅康館長(当時)訪問  
 11月 第21回福岡県・小郡市読書推進大会
- <平成2年度>
- 1990年(H2) 10月 中華人民共和国浙江省余姚市図書館に職員訪問
- <平成9年度>
- 1997年(H9) 11月 開館10周年記念文学講演会(沢木耕太郎氏)
- <平成11年度>
- 1999年(H11) 4月 小郡市立図書館ホームページ開設
- <平成12年度>
- 2000年(H12) 4月 久留米広域圏内在住者への貸出開始  
 開館時間を18時まで延長  
 6月 新利用券への更新(4回目)  
 10月 開館時間を毎週金曜日のみ20時まで延長  
 11月 子ども読書年記念講演会(角野栄子氏、荒井良二氏)
- <平成13年度>
- 2001年(H13) 5月 小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会設立  
 2002年(H14) 3月 移動図書館車「しらさぎ号」新車買換(3代目)
- <平成14年度>
- 2002年(H14) 4月 財団法人小郡市公園ふれあい公社へ編入  
 学校巡回配本車運行開始  
 「子どもの読書活動優秀実践図書館」文部科学大臣表彰  
 5月 丸山病院の病棟内での貸出開始
- 2003年(H15) 1月 インターネットコーナー設置(端末4台)  
 2月 10か月児健診でブックスタート開始  
 3月 開館15周年記念講演会(飯野和好氏)
- <平成15年度>
- 2003年(H15) 4月 館報名を小郡市公園ふれあい公社情報紙「コンタクト」に変更  
 7月 宅配サービス開始(来館が困難な人を対象)
- <平成16年度>
- 2004年(H16) 4月 月曜日が祝日のときの翌日休館を廃止  
 11月 第19回国民文化祭ふくおか2004 文芸祭現代詩大会開催  
 詩のボクシング・小中学生大会開催
- <平成17年度>
- 2005年(H17) 4月 祝日を開館とする  
 10月 新図書館電算システムによる業務の開始  
 詩のボクシング・小中学生大会開催

- <平成18年度>
  - 2006年(H18) 4月 指定管理者制度による運営の開始（小郡市公園ふれあい公社を指定）  
毎月第2・4・5月曜日を開館とする。
- <平成19年度>
  - 2007年(H19) 10月 ブックスタート・フォローアップイベント開催
- <平成21年度>
  - 2009年(H21) 4月 市直営（教育部図書課）による運営の開始
  - 7月 三市一町内在住者への貸出開始
- <平成22年度>
  - 2011年(H23) 3月 新図書館電算システム（学校図書館等とのシステム統合）による業務開始
- <平成23年度>
  - 2011年(H23) 6月 WEB（ウェブ）サービス開始
  - 2012年(H24) 1月 マルチメディアDAISY、赤ちゃん絵本パック貸出開始
- <平成24年度>
  - 2012年(H24) 11月 開館25周年記念事業「ふれあいフェスティバル」
- <平成25年度>
  - 2014年(H26) 1月 三国校区公民館図書室リニューアルオープン
  - 2月 個人貸出数1,000万冊達成
- <平成26年度>
  - 2014年(H26) 4月 筑紫野市・筑前町在住者への貸出開始
- <平成27年度>
  - 2015年(H27) 4月 朝倉市・東峰村在住者への貸出開始
  - 2016年(H28) 3月 新図書館電算システムによる業務の開始  
授乳室を設置
- <平成29年度>
  - 2017年(H29) 8月 開館30周年特別企画
  - 11月 開館30周年記念感謝祭  
開館30周年記念利用券発行（3種類）
- <平成30年度>
  - 2018年(H30) 10月 「第4回 図書館キャラクター・グランプリ」にて  
ラックンがkumor i賞（審査委員会賞）受賞
- <令和元年度>
  - 2019年(R元) 5月 帯木蓬生氏「小郡市ふるさと文化大使」就任記念講演会  
「帯木蓬生 久留米藩三部作の世界」展（6月まで）
- <令和2年度>
  - 2020年(R2) 10月 休館日を毎週水曜日に変更
  - 12月 在架予約サービス開始
- <令和4年度>
  - 2023年(R5) 3月 新図書館電算システムによる業務の開始
- <令和5年度>
  - 2024年(R6) 3月 「くるめ広域電子図書館」オープン

**市立図書館のキャラクター  
ラックン**



## 野田宇太郎文学資料館

### <昭和59年度>

- 1984年(S59) 7月 野田宇太郎氏死去(詩人、小郡市松崎出身、東京都立川市在住)  
11月 故野田宇太郎氏の蔵書等を市へ寄贈決定

### <昭和62年度>

- 1987年(S62) 11月 野田宇太郎文学資料館開館

### <平成元年度>

- 1989年(H元) 10月 第1回野田宇太郎生誕祭・詩碑祭・献詩発表。以後ほぼ毎年開催

### <平成2年度>

- 1990年(H2) 8月 野田宇太郎七回忌・丸山豊一周忌記念特別企画展  
「野田宇太郎・丸山豊 二人展」(10月まで)

### <平成3年度>

- 1992年(H4) 3月 企画展「没後50年記念 北原白秋展」(4月まで)

### <平成4年度>

- 1992年(H4) 10月 市制20周年・開館5周年特別企画展  
「近代文学ロード『五足の靴』紀行展」(12月まで)

### <平成5年度>

- 1993年(H5) 10月 企画展「漂泊の詩人『檀一雄』展」(12月まで)

### <平成6年度>

- 1994年(H6) 8月 「母音」復刻記念企画展「丸山豊と『母音』の詩人たち」(11月まで)

### <平成7年度>

- 1996年(H8) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第1回北九州」(5月まで)

### <平成8年度>

- 1997年(H9) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第2回筑紫路」(5月まで)

### <平成9年度>

- 1997年(H9) 10月 開館10周年特別企画展「野田宇太郎と谷口吉郎の世界」(12月まで)

### <平成10年度>

- 1999年(H11) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第3回京築・筑豊」(5月まで)

### <平成12年度>

- 2000年(H12) 7月 企画展「新・九州文学散歩 第4回佐賀の文学」(9月まで)

### <平成13年度>

- 2001年(H13) 5月 企画展「新・九州文学散歩 第5回長崎の文学」(8月まで)

### <平成14年度>

- 2002年(H14) 7月 市制30周年・開館15周年特別企画展「白秋童謡の世界」(12月まで)

### <平成15年度>

- 2004年(H16) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第6回熊本文学」(5月まで)

### <平成16年度>

- 2004年(H16) 9月 第19回国民文化祭ふくおか2004 現代詩大会記念企画  
「筑紫の詩人たちー福岡の現代詩と詩人の群像」(11月まで)

### <平成17年度>

- 2005年(H17) 11月 企画展「新・九州文学散歩 第7回大分の文学」(1月まで)

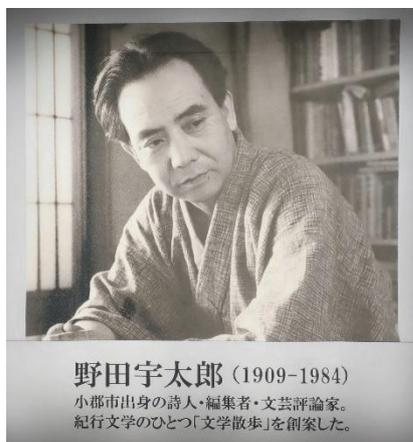
### <平成18年度>

- 2007年(H19) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第8回宮崎の文学」(5月まで)

### <平成19年度>

- 2007年(H19) 12月 企画展「『五足の靴』百年ーわかうどの靴音」(2月まで)

- <平成20年度>  
2009年(H21) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第9回鹿児島文学」(5月まで)
- <平成21年度>  
2009年(H21) 10月 生誕100年特別企画展「野田宇太郎文学散歩」(1月まで)
- <平成22年度>  
2011年(H23) 3月 企画展「新・九州文学散歩 第10回奄美・沖縄文学」(5月まで)
- <平成24年度>  
2012年(H24) 10月 企画展「筑後の文学」(12月まで)
- <平成25年度>  
2014年(H26) 2月 企画展「耽美主義文学運動『パンの会』」(4月まで)
- <平成26年度>  
2015年(H27) 2月 企画展「野田宇太郎が歩いた山口」(5月まで)
- <平成27年度>  
2015年(H27) 11月 企画展「野田宇太郎の美術散歩」(2月まで)
- <平成28年度>  
2016年(H28) 8月 企画展「蒲原有明—近代詩の先駆者—」(11月まで)
- <平成29年度>  
2017年(H29) 8月 特別企画展「野田宇太郎—激動の時代を駆けぬけた編集者—」(11月まで)
- <平成30年度>  
2018年(H30) 8月 企画展「野田宇太郎と博物館明治村」(11月まで)
- <令和元年>  
2019年(R元) 9月 企画展「野田宇太郎とキリシタン文学」(12月)
- <令和2年度>  
2020年(R2) 11月 企画展「碑に込めた思い—野田宇太郎と文学碑—」(2月まで)
- <令和3年度>  
2021年(R3) 9月 企画展「『新東京文学散歩』刊行70年記念 野田宇太郎が遺した文学史の道標」(11月まで)
- <令和4年度>  
2023年(R5) 1月 クローズアップ企画展「野田宇太郎と藤村記念堂」(4月まで)
- <令和5年度>  
2023年(R5) 11月 ミニ企画展「野田宇太郎の旅の思い出」(2月まで)
- <令和6年度>  
2024年(R6) 11月 野田宇太郎没後40年企画展「野田宇太郎推し物語」(2月まで)



野田宇太郎文学資料館

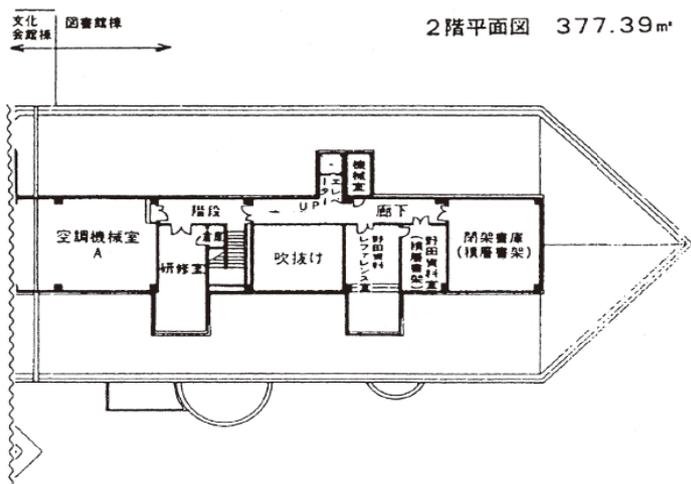
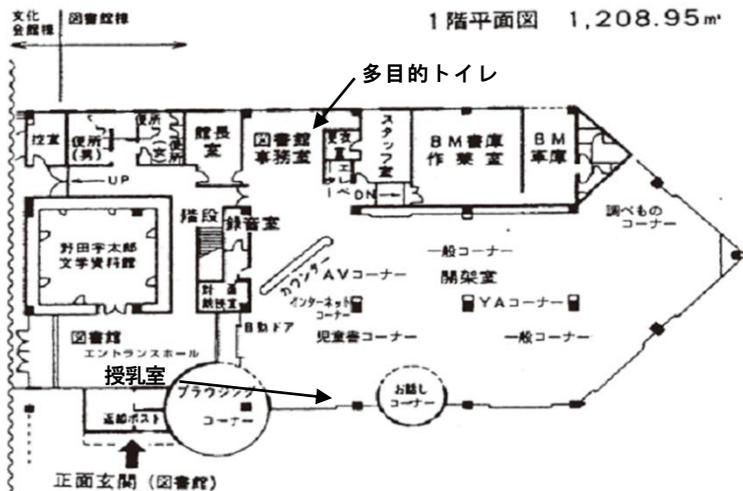
### 3. 施設の概要

#### 1. 小郡市民ふれあい広場の概要

所在地	小郡市大板井136番地1
着工	昭和61年8月11日
竣工	昭和62年9月25日
開館	昭和62年11月3日
敷地面積	15,930.759㎡
建築面積	3,932.77㎡
延床面積	5,352.51㎡ (図書館部分 1,586.34㎡)
構造	鉄骨、鉄筋コンクリート造 地上3階
総工費	約25億円

#### 2. 図書館施設の概要

● 1階	1,208.95㎡
開架室	483.33㎡
ブラウジングコーナー	50.24㎡
対面朗読室	11.09㎡
録音室	7.34㎡
準備室	6.01㎡
エントランスホール	80.68㎡
おはなしコーナー	18.47㎡
B M 書庫	64.00㎡
B M 車庫	32.00㎡
野田宇太郎文学資料館	100.93㎡
● 2階	377.39㎡
研修室	44.03㎡
野田資料レファレンス室	47.33㎡
閉架書庫・野田資料室	88.18㎡



## 4. 運営方針

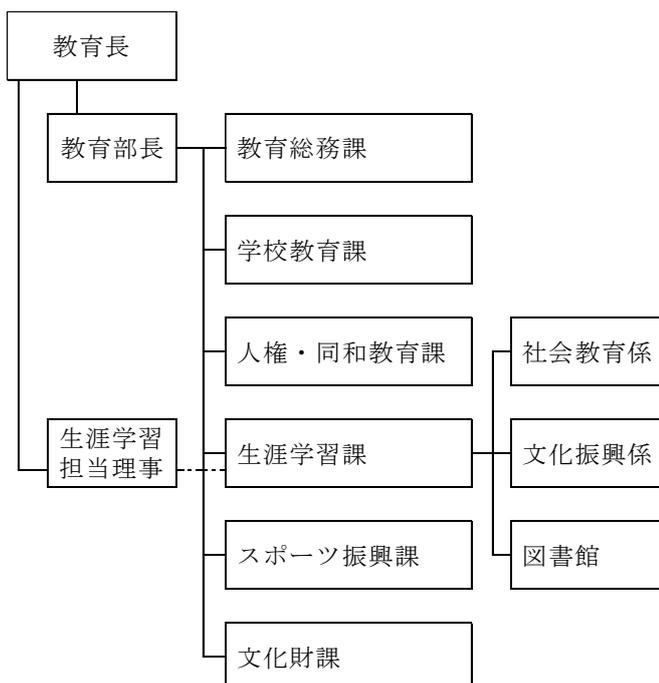
- ① すべての市民に「ひらかれた図書館 — 親しみやすく、入りやすく、いこいとやすらぎのある図書館」としてサービスする。
- ② 利用者のプライバシーを保護することを最優先し、サービスに努める。それについては、日本図書館協会が採択した「図書館の自由に関する宣言」「図書館員の倫理綱領」をよりどころとし、職員研修に努める。
- ③ 市民の知的要求にこたえるよう、広く資料を収集し、提供する。
- ④ 年齢、信条、職業などに関わりなく、すべての市民にサービスする。
- ⑤ 市内の全域サービスに努める。
- ⑥ 貸出を運営の基本とする。
- ⑦ 市の文化振興の拠点となる図書館とする。
- ⑧ 市に関する多くの資料を収集する。
- ⑨ 明日をになう青少年を教養、情操豊かな社会人に育てるため、児童青少年サービスに努める。
- ⑩ 読書案内、予約サービス、レファレンスを積極的に行う。
- ⑪ 読書する市民をふやし、図書への要求を拡大するために、読書普及に努める。
- ⑫ 他関係機関との連携を密にし、相互協力体制をつくる。
- ⑬ 野田宇太郎文学資料館の充実に努める。

## 5. 組織・職員体制

(令和7年4月14日現在)

### 1. 教育委員会組織

### 2. 図書館職員体制



### 図書館長 (市職員)

#### 図書館企画主査 (市職員・司書)

— 担当 2 名 (市職員・司書、再任用職員)

— 司書13名、BM担当 1 名  
(会計年度任用職員)

— 学校図書館支援センター 2 名  
(会計年度任用職員)

#### 野田宇太郎文学資料館

— 専門員 2 名 (学芸員 1 名、司書 1 名)  
(会計年度任用職員)

## 6. 図書館サービス

- ①開館時間 ・ 10時～18時（金曜日は、20時まで）
- ②休館日 ・ 毎週水曜日  
・ 年末年始（12月28日から1月4日まで）  
・ 特別整理期間（年間15日以内）
- ③利用資格 ・ 市内在住の人、又は市内に通勤・通学している人。  
・ 久留米広域圏（久留米市、大川市、大刀洗町、大木町、うきは市）  
・ 三市一町内在住者（久留米市、鳥栖市、基山町）  
・ 広域利用自治体内在住者（筑紫野市、筑前町、朝倉市及び東峰村）
- ④貸出冊数 ・ 図書・雑誌は、1人15冊、  
・ AV資料（ビデオ・CD・カセット・DVD）は、1人4点まで  
・ DAISY 1人1点（市内在住・通勤・通学者のみ）  
・ 絵本パック1家庭に1セット（市内在住者のみ）
- ⑤貸出期間 ・ 2週間（絵本パックは、1か月）
- ⑥貸出方法 ・ 富士通 iLiswing V4 / WebiLis による電算処理
- ⑦移動図書館 ・ 市内27ステーションを、火・木・金曜日に分けて2週間ごとに巡回し、  
うち3か所で病院貸出を行っている。  
・ 貸出要件、冊数、期間は、本館と同様
- ⑧団体貸出 ・ 市内の各種団体・公民館等に1か月～1年間の貸出をしている。
- ⑨ブックポスト ・ 市内6か所（西鉄小郡駅、三国校区コミュニティセンター、三国が駅、  
端間駅、のぞみが丘公民館、美鈴が丘公民館）に返却ポストを設置
- ⑩サービス ・ リクエスト、レファレンス、コピー、朗読テープ宅配サービス等
- ⑪行事等 ・ 隔週土曜日のおはなし会や図書館レクチャー等様々な催しを実施
- ⑫インターネット ・ インターネット用パソコンを2台設置している。  
（小学4年生以上が対象・無料）  
・ 手話通訳サービスが受けられる専用パソコンを設置している。
- ⑬ブックスタート ・ 9か月児健康相談会時に、絵本やアドバイス集などが入ったブックスタート  
パックを手渡している。
- ⑭宅配サービス ・ 体が不自由な人や高齢などの理由で来館が困難な人に、宅配を行っている。

## 7. 予算

### 1. 予算の推移

		(千円)					
区分	年度	昭和62	令和3	令和4	令和5	令和6	令和7
一般会計全体		10,054,328	20,745,000	21,840,000	23,029,000	24,459,000	26,715,000
教育費		2,974,256	2,470,300	2,175,318	2,852,719	3,149,585	3,387,964
図書館費		88,136	97,403	98,557	110,985	109,620	120,101
資料費		35,684	12,600	11,900	13,153	14,250	14,000
うち図書購入費		35,128	10,700	10,000	11,153	12,250	12,000
うち雑誌・新聞		556	1,900	1,900	2,000	2,000	2,000

※人口一人当たりの資料費 235円 (14,000,000円÷59,463人)

### 2. 予算の内訳

歳出 (10款 教育費 6項 社会教育費 4目 図書館費)

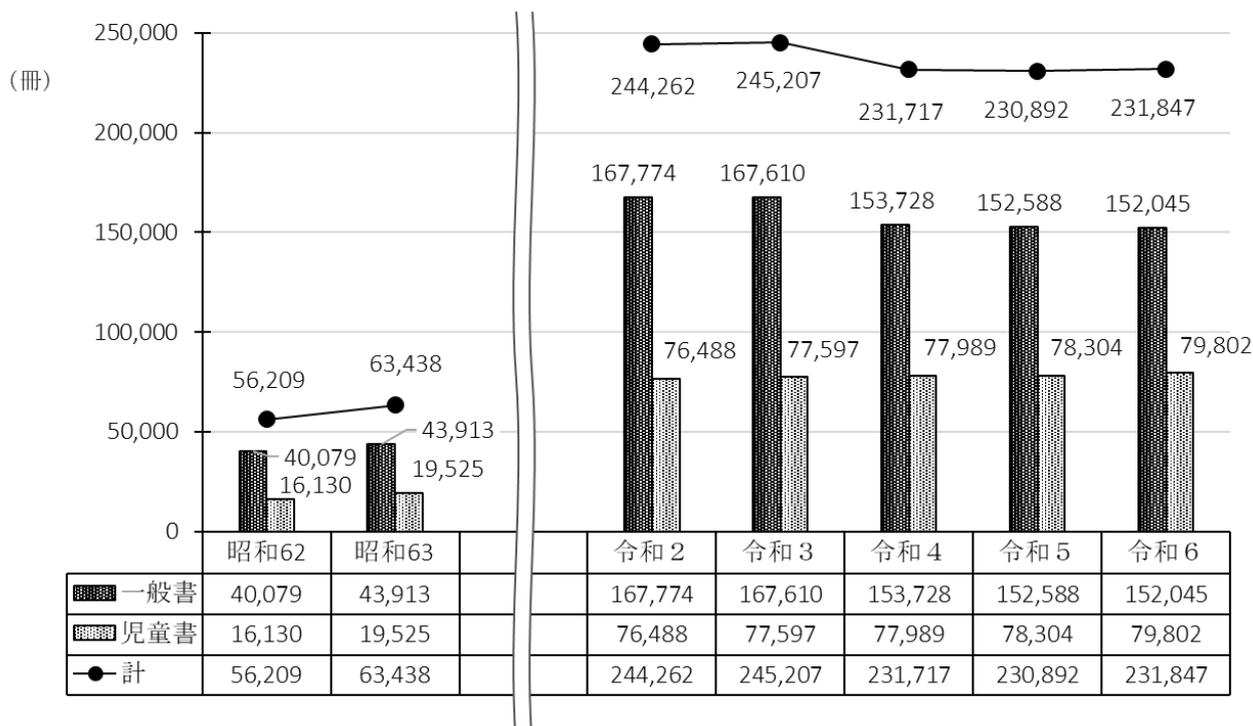
(千円)

節	令和6	令和7	増減	主な内訳
1 報酬	42,625	47,657	5,032	図書館協議会委員 図書館司書、学校図書館支援センター 図書館配架等補助員
2 給料	11,750	11,922	172	給料
3 職員手当等	14,479	19,743	5,264	期末勤勉手当等
4 共済費	7,079	8,127	1,048	共済組合負担金等
7 報償費	1,482	1,509	27	講師謝金、協力者謝金、委員等謝金 ブックスタート記念品代
8 旅費	2,210	2,571	361	費用弁償、普通旅費
10 需用費	4,280	3,198	△ 1,082	消耗品費、印刷製本費、修繕料
11 役務費	700	636	△ 64	通信運搬費
12 委託料	5,829	5,592	△ 237	野田資料館展示、マーク入力、コンピュータ保守 返却ポスト本の回収、託児業務
13 使用料及び賃借料	5,528	5,753	225	コンピュータリース料、複写機リース料 有線放送、収蔵作品管理システム使用料
17 備品購入費	12,347	12,082	△ 265	図書購入費、一般備品
18 負担金、補助及び 交付金	1,311	1,311	0	野田宇太郎顕彰会補助金 小都市「子どもの読書」関連団体連絡協議会補助金 電子図書館共同運用事業負担金
合計	109,620	120,101	10,481	

## 8. 資料

### 1. 所蔵資料

#### (1) 図書資料



#### (2) その他資料

##### 視聴覚資料

(点)

	令和4	令和5	令和6
ビデオ	195	134	135
DVD	879	927	939
カセットテープ	360	359	359
CD	3,605	3,639	3,705
DAISY	71	71	72
計	5,110	5,130	5,210

##### 新聞 (8紙)

朝日新聞 (朝・夕)	産経新聞 (朝)
西日本新聞 (朝・夕)	日刊スポーツ
日本経済新聞 (朝・夕)	毎日新聞 (朝・夕)
読売新聞 (朝・夕)	The Japan Times

### 2. 年間購入数

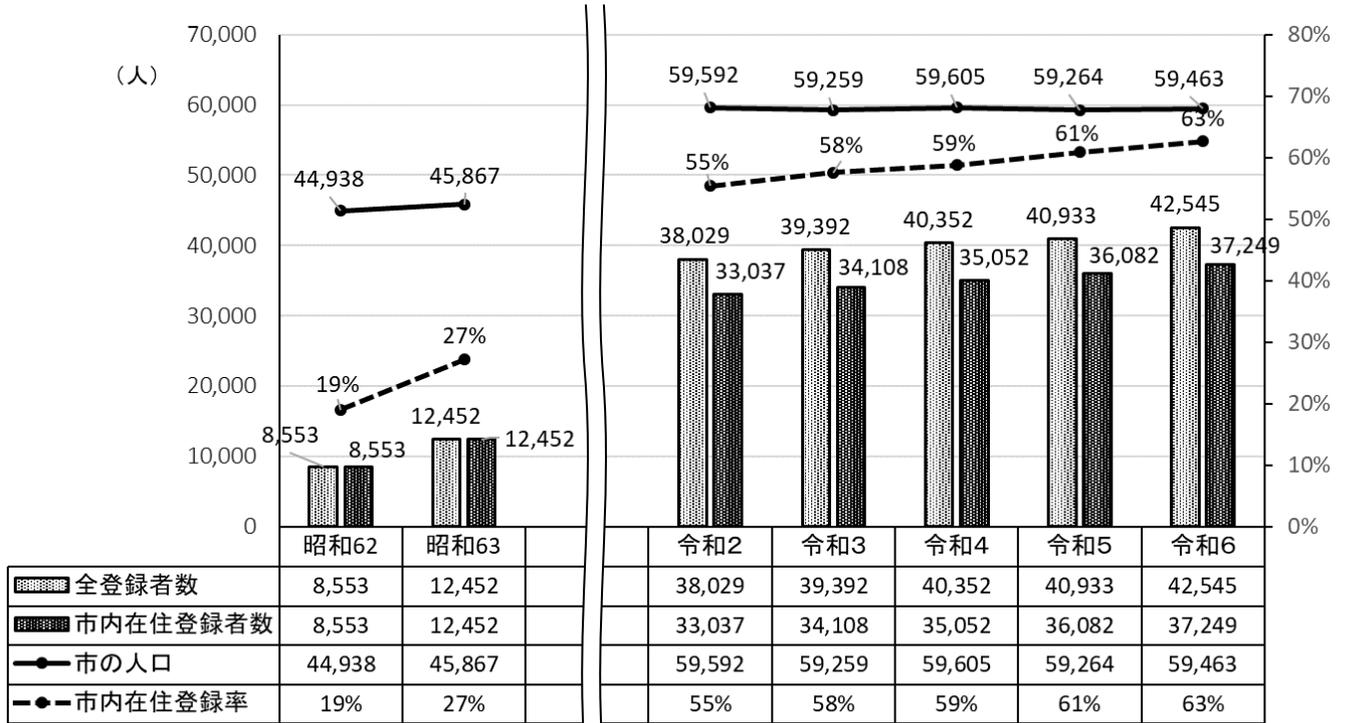
(冊・点)

	昭和62	昭和63	令和2	令和3	令和4	令和5	令和6
一般書	37,556	8,814	6,647	5,739	3,968	3,450	3,792
雑誌					1,558	1,593	1,536
視聴覚資料					14	66	64
ヤングアダルト資料					311	311	350
児童書	15,179	3,795	1,634	1,428	1,039	1,070	1,842
計	52,735	12,609	8,281	7,167	6,890	6,490	7,584

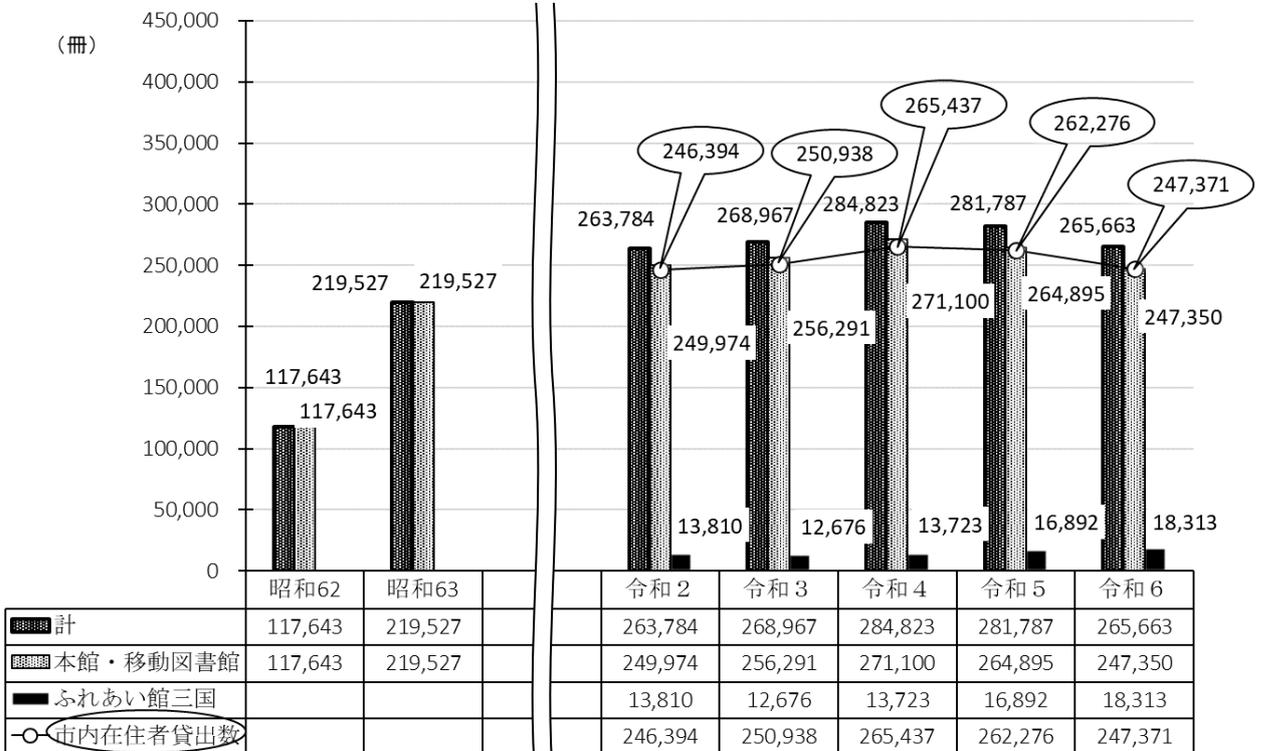
# 9. 利用状況

## 1. 個人利用状況

### (1) 年度別登録者数



### (2) 年度別個人貸出冊数



#### 【市内在住者貸出数】

※市内人口一人当たり 約 4.1 冊 (247,371冊÷59,463人)

※登録者一人当たり 約 6.6 冊 (247,371冊÷37,249人)

(3) リクエスト（予約）状況

(冊)

	図書	雑誌	AV資料	合計
令和6年度	18,320	1,597	44	19,961
そのうちWEB予約	14,315	1,073	30	15,418
リクエストによる購入	388	リクエスト対応不可※		20

※リクエスト対応不可とは、漫画等の図書館では提供するものではないと判断したもの（未発売・電子書籍・期限切れ・本人取消等は、含まない）

(4) 相互貸借状況

○相互貸借件数

(冊)

	令和4	令和5	令和6	うち三市一町
貸出	1,523	967	846	289
借受	1,630	2,089	1,382	489
計	3,153	3,056	2,228	778

○三市一町図書館協力協議会内訳（令和6年度）

(冊)

	小郡へ	基山へ	久留米へ	鳥栖へ	貸出計
小郡から		4	255	30	289
基山から	114		126	51	291
久留米から	225	35		275	535
鳥栖から	150	41	175		366
借受計	489	80	556	356	1,481

(5) 移動図書館ステーション別貸出冊数

(冊)

味坂小学校	948	小郡交流センター	1,048	のぞみが丘小学校	1,481
味坂保育園	2,285	蒲池病院	1,030	ひまわり館東野	772
あすてらす	123	サンカルナテラス三国が丘駅前	665	本間病院	1,755
東野小学校	847	サンホーム小郡	327	新古賀病院みらい	243
池月苑	671	自衛隊大原宿舎	248	三国小学校	1,664
大崎保育所	450	上田町公園	229	みくに野団地公民館	1,097
大原小学校	2,358	城山保育園	816	旧三国幼稚園	398
小郡小学校	799	聖和記念病院	880	美鈴の杜北中尾公園	439
教育センター	439	立石小学校	1,079	御原小学校	890
				計	23,981

## 2. 団体利用状況

### (1) 団体貸出（利用：78団体）

(冊)

幼稚園・保育所	6,995	公民館	5,257
小学校	12,303	行政関係	169
中学校	849	高齢者施設等	6,678
高校・専門学校等	153	サークル等	1,125
学童保育所	1,589		
		計	35,118

### (2) 学校巡回配本車（メール便）相互貸借冊数年間計

(冊)

	小学校								中学校					高校		高尾看護専門学校	市立図書館	貸出合計
	味坂	小郡	御原	立石	三国	大原	東野	のぞみ	宝城	大原	立石	小郡	三国	三井	小郡			
味坂小学校		3	2	0	1	0	0	0	0	1	2	3	0	6	0	0	0	18
小郡小学校	9		1	0	1	3	2	0	0	1	2	1	0	0	1	0	0	21
御原小学校	5	1		0	0	14	0	1	0	3	11	1	0	6	1	0	0	43
立石小学校	0	0	2		0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
三国小学校	7	1	3	1		0	0	0	0	0	1	0	2	3	0	0	1	19
大原小学校	0	0	2	0	2		0	0	0	1	2	1	0	0	0	0	1	9
東野小学校	4	1	0	0	0	2		0	0	0	3	1	0	0	1	0	0	12
のぞみが丘小学校	0	0	2	1	0	0	0		0	0	0	2	0	1	0	0	0	6
宝城中学校	5	24	8	0	4	1	0	0		0	9	1	6	0	1	0	0	59
大原中学校	9	55	21	5	41	10	4	0	0		17	0	0	6	2	0	0	170
立石中学校	27	39	23	0	60	60	6	0	0	0		4	32	17	1	0	0	269
小郡中学校	4	14	15	0	1	12	0	2	1	1	6		9	0	0	0	1	66
三国中学校	5	90	8	1	26	31	3	0	33	5	29	0		10	0	0	0	241
三井高校	2	0	4	0	10	0	0	0	0	0	38	2	4		1	0	2	63
小郡高校	0	0	0	0	2	0	0	0	0	3	1	0	0	0		0	1	7
高尾看護専門学校	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
市立図書館	541	2,072	1,762	378	3,793	1,955	699	703	15	250	306	250	61	12	13	0		12,810
借受合計	618	2,300	1,853	386	3,941	2,088	714	707	49	265	427	266	114	61	21	0	6	13,816

### 3. ベストリーダー

#### 【一般書】

順位	書名	著者名	出版社	回数
1	魔女と過ごした七日間	東野 圭吾//著	KADOKAWA	66
	ブラック・ショーマンと覚醒する女たち		光文社	
3	あなたが誰かを殺した		講談社	65
4	クスノキの女神		実業之日本社	61
5	汝、星のごとく	凧良 ゆう//著	講談社	55
6	ブラック・ショーマンと名もなき町の殺人	東野 圭吾//著	光文社	54
	クスノキの番人		実業之日本社	
8	白鳥とコウモリ		幻冬舎	47
9	52ヘルツのクジラたち	町田 そのこ//著	中央公論新社	45
10	成瀬は信じた道をいく	宮島 未奈//著	新潮社	43

#### 【児童書】

順位	書名	巻号	著者名	出版社	回数
1	しろくまちゃんのほっとけーき		わかやま けん//[え]	こぐま社	100
2	はらぺこあおむし		エリック=カール//さく	偕成社	88
3	11ぴきのねことへんなねこ		馬場 のぼる//著	こぐま社	69
4	11ぴきのねこどろんこ			こぐま社	68
5	11ぴきのねこ			こぐま社	63
6	おつきさまこんばんは		林 明子//さく	福音館書店	60
7	いちごです		川端 誠//作	文化出版局	59
	11ぴきのねことぶた		馬場 のぼる//著	こぐま社	
9	しろくまちゃんばんかいに		わかやま けん//[絵]	こぐま社	57
10	猫の恩返し	3	アニメージュ編集部//編	徳間書店	56
	じゃがいもポテトくん		長谷川 義史//作 絵	小学館	

#### 【YA】

順位	書名	巻号	著者名	出版社	回数
1	ハムスターの研究レポート	4	大雪 師走//著	偕成社	20
	ハムスターの研究レポート	8		白泉社	
3	ずるいいきもの図鑑		今泉 忠明//監修	宝島社	19
4	特製ちびまる子ちゃん	3	さくら ももこ//著	集英社	18
	マンガでおぼえる品格のある知的な日本語		齋藤 孝//著	岩崎書店	
	ざんねんないきもの事典	続々	今泉 忠明//監修	高橋書店	
7	ハムスターの研究レポート	1	大雪 師走//作	偕成社	17
	明日から使える死亡フラグ図鑑		茶んた//著	宝島社	
	東大教授がおしえるやばい日本史		本郷 和人//監修	ダイヤモンド社	
10	特製ちびまる子ちゃん	5	さくら ももこ//著	集英社	16
	世界のふしぎなことわざ図鑑		北村 孝一//著	KADOKAWA	
	ぼくらの災害サバイバルBOOK		国崎 信江//監修	主婦の友社	
	すみっこぐらしの四季めぐり		サンエックス//監修	リベラル社	
	ざんねんないきもの事典	さらに	今泉 忠明//監修	高橋書店	
	シャーロット	上	守雨//著	ホビージャパン	
	自宅学習の強化書		葉一//著	フォレスト出版	
本好きの下剋上	第5部[11]	香月 美夜//著	TOブックス		

【AV】

順位	タイトル	著者名	回数	分類
1	梅切らぬバカ	和島 香太郎／監督・脚本	24	DVD
2	イン・ザ・ハイツ	ジョン・M.チュウ／監督	22	
	砂の器	野村 芳太郎／監督		
5	魔女の宅急便	宮崎 駿／プロデュース・脚本・監督	21	
	マザー	大森 立嗣／監督		
	モリのある場所	沖田 修一／監督・脚本		
8	平成狸合戦ぽんぽこ	高畑 勲／原作・脚本・監督	20	
	シング	ガス・ジェニングス／監督・脚本		
	決定版!不滅の映画音楽	ラリー・ネルソン・オーケストラ／演奏		
	天空の城ラピュタ	宮崎 駿／原作・脚本・監督		
	猫の恩返し	宮崎 駿／企画		

【雑誌】

順位	タイトル	巻号	回数
1	オレンジページ	24'4月17日号	43
2	婦人公論	23'10月号	34
		23'11月号	
		24'5月号	
5	ESSE	23'11月号	33
6	婦人公論	24'3月号	32
	ESSE	24'4月号	
8	オレンジページ	24'4月2日号	31
9	婦人公論	24'4月号	30
	ESSE	24'5月号	

【ベストリクエスト】

順位	書名	著者名	出版社	回数
1	クスノキの女神	東野 圭吾／著	実業之日本社	84
	架空犯		幻冬舎	
3	成瀬は天下を取りにいく	宮島 未奈／著	新潮社	70
4	俺たちの箱根駅伝 下	池井戸 潤／著	文藝春秋	51
	俺たちの箱根駅伝 上		文藝春秋	
6	わたしの知る花	町田 そのこ／著	中央公論新社	48
7	小鳥とリムジン	小川 糸／著	ポプラ社	46
8	傲慢と善良	辻村 深月／著	朝日新聞出版	45
9	spring	恩田 陸／著	筑摩書房	44
10	ツミデミック	一穂 ミチ／著	光文社	38
	成瀬は信じた道をいく	宮島 未奈／著	新潮社	
	藍を継ぐ海	伊与原 新／著	新潮社	

4. その他統計

インターネット利用数 643件  
開館日数 290日

## 10. 図書館実績（令和6年度）

### 【「子ども読書」の街づくり家読推進事業】

開催日	行事名	内容
4/22(月)	子ども読書の日関連給食(小・中学校) ものがたりレシピをいただきます 絵本 「あたごの浦」	学校給食「カレイフライのカラフルソース」 「わかめと豆腐のみそしる」 実践協力校 立石小学校1～6学年 (6クラス)
5/23(木)	読み聞かせ講座	会場 文化会館 小ホール、参加14名
8/19(月)	夏休み子ども企画 (牛乳パックのペン立てと新聞紙のエコバック)	会場 文化会館 小ホール 参加 子ども12名
8/20(火)	夏休み子ども企画 (紙コップ工作(おもちゃと風鈴))	会場 文化会館 小ホール 参加 23名(子ども15名、大人8名)
9/19、10/3、10/17	子どもと絵本講座(全3回)	会場 文化会館 和室 生涯学習センター 会議室2
11/10(日)	チャレンジ!図書館司書	会場 図書館 2階研修室、参加6名
11/24(日)	トールペイント教室 「お部屋のプレートを作ろう!」	会場 生涯学習センター 研修室1.2 参加 25名(子ども17名、大人8名)
11/30(土)	「ボードゲームで★楽しく★コミュニケーション!」	会場 生涯学習センター 会議室3.4 参加 20名(子ども10名、大人10名)
1/19(日)	「メッセージカードを作ろう」講座	会場 生涯学習センター 研修室1.2 参加 9名(子ども4名、大人5名)
3/1(土)	「クトゥルフ神話TRPGを体験しよう!」 (テーブルトーク・ロール・プレイング・ゲーム)	会場 生涯学習センター 会議室2 参加 7名(小学6年生1名、17歳以上6名)
3/9(日)	小郡市「子ども読書」の街づくり読書推進講演会 演題 「給食室のいちにち」ってどんな一日?	会場 生涯学習センター セタホール 講師 大塚菜生さん(児童書作家) (えほん「給食室のいちにち」作者) 参加 36名

### 【おはなし会】

開催日	行事名	内容
5/22(水)	出張おはなし会(小郡小学校)	会場 小郡小学校 参加 約20名
8/4(日)	おはなしどんどん 主催 小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会	会場 あすてらす プレイルーム 参加 約35名
12/10(火)	クリスマスおはなし会(0～2歳児の親子)	参加 子ども6名、大人6名
12/15(日)	クリスマスおはなし会(3歳以上)	参加 子ども23名、大人16名
12/21(土)	出張おはなし会(ふれあい館三国)	参加 子ども9名、大人3名
2/7(金)、2/8(土)	出張おはなし会(イオン小郡おはなし会)	会場 イオン小郡 天の川広場 参加 約50名
隔週土曜日	おはなし会	図書館職員2名
毎月第3月曜日	出前おはなし会	会場 ひまわり館東野(つどいの広場)
月1回	ブックスタート(9か月乳児相談時に実施)	会場 あすてらす(職員4名+ボランティア)
隔月	ようこそ赤ちゃん教室(おススメの絵本の紹介)	会場 あすてらす(職員1名)

### 【学校図書館支援センター】

開催日	行事名	内容
① 5/27(月) ② 12/6(金) ③ 2/18(火)	小郡市教育機関学校図書館合同会議①②③	・図書館/学校図書館支援センターより ・学校教育課より ・意見交換
9/26(木)	学校図書館・市立図書館合同研修会 演題 「読書のバリアフリー」	講師 野口武悟さん (日本子どもの本研究会(JASCL)会長) (専修大学教授・日本図書館協議会員)
12/6(金)	学校図書館・市立図書館合同研修会 演題 「バリアフリー図書について」	講師 夏秋圭助さん (福岡点字図書館長)
毎月1回	学校図書館司書研修会	会場 各学校図書館他

### 【POP制作講座】

開催日	対象	開催日	対象
6/7(金)	味坂小学校 (4年)	7/11(木)	立石小学校 (4年)
7/1(月)	御原小学校 (4年)	7/12(金)	小郡中学校 (2年)
7/4(木)	三国小学校 (図書委員・教諭)	7/16(火)	大原小学校 (5年)
7/8(月)	のぞみが丘小学校 (5年)	7/18(木)	小郡小学校 (4年)
7/9(火)	立石中学校 (2年・図書委員)	9/5(木)	宝城中学校 (1年)
7/11(木)	東野小学校 (5年)	10/24(木)	大原中学校 (図書委員)
【講師】 片山 茂さん (POPインストラクター)		1/23(木)～2/16(日)	POPコンテスト展示 (図書館エントランス)

### 【図書館レクチャー (くらしゅう (暮らしを充実) 図書館】

開催日	行事名	内容
4/26、6/1、9/28 11/30、3/15	電子図書館使い方教室	会場 図書館 エントランス
8/26(月)	野菜づくり教室 「秋野菜をつくろう！」	会場 文化会館 小ホール 講師 佐藤圭さん (農山漁村文化協会) 参加 17名
2/11(火・祝)	マクラメ講座 「ミニプラントハンガー(多肉植物付き)を作ろう！」	会場 図書館 2階研修室 参加 10名 (子ども3名、大人7名)

### 【その他の事業】

開催日	行事名	内容
6/4(月)～7/7(日)	廃棄新聞市民配付	対象 令和3年 (2021年) 発刊分
9/2(月)～9/13(金)	特別整理休館 (蔵書点検)	
9/13(金)	ブックリサイクル (関係機関配布)	会場 文化会館 小ホール
9/14(土)～15(日)	ブックリサイクル (一般配布)	会場 文化会館 小ホール
10月～12月	読書週間・図書館開館記念イベント (37周年) ・ラックンぬりえ ・まちがいさがしチャレンジ ・移動図書館車スタンプラリー ・本館でスタンプラリー ・図書館deミュージック ・バックヤードツアー ・ホラーナイトライブラリー	会場 図書館他
1/20、1/27、2/3、2/10	録音図書製作 (音声訳) ボランティア養成講座	会場 図書館 2階研修室 参加 延べ27名
1/25(土)	本の装備講習会	会場 図書館 2階研修室 参加 5名 (子ども1名、大人4名)

### 【視察・研修・見学受入】

開催日	行事名	内容
5/7(火)	図書館 視察	杵築市立図書館 10名
5/28(火)	図書館 職場体験	大原中学校 2学年2名
7/8(月)	図書館 見学	味坂小学校 3学年
6/14(金)	野田宇太郎文学資料館 見学	立石小学校 5学年
8/6～10、8/20～24	図書館 実習	福岡女子短期大学 2学年1名
9/10～14、9/17～20	図書館 実習	久留米大学 3学年1名
9/20(金)	図書館 見学【出張紹介】	三国小学校 2学年
10/3～4	図書館 インターンシップ	三井高等学校 2学年2名
10/4(金)	図書館 見学	東野小学校 2学年
11/8(金)	図書館 見学【出張紹介】	のぞみが丘小学校 2学年
11/21(木)	図書館 見学	大原小学校 2学年

【会議】

開催日	行事名	内容
5/17(金)	福岡県公共図書館等協議会・ 福岡県読書推進運動協議会 理事会①	会場 福岡県立図書館
5/21(火)	第1回北筑後地区子どもの読書活動推進連絡会議	会場 北筑後教育事務所
5/30(木)	福岡県公共図書館等協議会 北筑後地区協議会・館長等会議	会場 図書館 2階研修会
5/31(金)	福岡県公共図書館等協議会・ 福岡県読書推進運動協議会総会+研修会	会場 福岡県立図書館
6/7(金)	福岡県点字および録音図書連絡協議会・総会	会場 福岡県立図書館
6/13(木)	小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会総会	会場 図書館 2階研修会
6/13、11/12、3/3	小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会役員会	会場 図書館 2階研修会
6/28(金)	三市一町図書館協力協議会総会	会場 久留米市立中央図書館
11/15(金)	第1回小郡市図書館協議会	会場 図書館 2階研修会
11/22(金)	福岡県点字および録音図書連絡協議会・連絡会	会場 北九州市立点字図書館
1/28(火)	小郡市子どもの読書活動推進計画策定委員会	会場 文化会館 小ホール
2/26(水)	第2回北筑後地区子どもの読書活動推進連絡会議	会場 北筑後教育事務所
3/13(木)	福岡県公共図書館等協議会・ 福岡県読書推進運動協議会 理事会②	会場 福岡県立図書館
3/27(木)	第2回小郡市図書館協議会	会場 図書館 2階研修会

【職員研修】

開催日	行事名	内容
9/27(金)	福岡県公共図書館等協議会第1回職員研修会	会場 福岡県立図書館
9/30(月)	福岡県公共図書館等協議会 北筑後協議会・職員研修会 演題 「電子図書館の今後の可能性について」	会場 生涯学習センター 七夕ホール 講師 野口武悟さん (日本子どもの本研究会 (JASCL) 会長) (専修大学教授・日本図書館協議会員)
11/14(木)	三市一町図書館協力協議会職員研修会 内容 「資料の防災対策及び災害発生時の 他図書館との連携について」	会場 久留米市立中央図書館 3階会議室
12/17(火)	三市一町図書館協力協議会視察研修 内容 「複合施設での図書館の役割について」 ～商業施設へ移転した経緯や理由について～	会場 熊本県荒尾市立図書館
1/31(金)	小郡市「子どもの読書」関連団体連絡協議会視察研修	会場 春日市ふれあい文化センター学習室3
2/7(金)	福岡県点字および録音図書連絡協議会担当者研修会	会場 久留米市立中央図書館
2/18(火)	三市一町図書館協力協議会職員研修会 演題 「よりよい図書館運営、サービスを継続 するための工夫や方法について」	会場 生涯学習センター 七夕ホール 講師 二井治美さん (草津市立図書館長)

## 【野田宇太郎文学資料館】

### 【常設展示】

開催日	行事名	内容
2/22(木)～5/21(火)	常設展テーマ展示	テーマ「春のお宝大公開 ～森鷗外ゆかりの品々～」
5/23(木)～6/18(火)	常設展テーマ展示	テーマ「わがふるさは筑後松崎」
6/20(木)～7/30(火)	常設展テーマ展示	テーマ「夏の訪れを感じる。」
8/1(木)～9/1(月)	常設展テーマ展示	テーマ「好きな詩を見つけよう」
9/14(土)～11/12(火)	常設展テーマ展示	テーマ「秋のお宝本大公開 北九州文学散歩」
2/23(日)～3/18(火)	常設展テーマ展示	テーマ「野田宇太郎の憧れた第一書房」

開催日	行事名	内容
5/28(火)	野田宇太郎顕彰会役員会	会場 文化会館 小ホール
6/18(火)	瀬戸内文学館連絡協議会総会	欠席・議決権行使書提出
8/4(日)	福岡県ゆかりの詩人を語る会 テーマ「『戦争の詩』今、伝えたい、読みたい」	会場 生涯学習センター 会議室 講師 田島安江さん(福岡県詩人会)
10/14(月・祝)	宇太郎カフェ テーマ「本と一緒に北九州文学散歩」	会場 文化会館 小ホール 講師 轟良子さん(北九州森鷗外記念会理事)
10/27(日)	野田宇太郎生誕祭	会場 松崎 水鳥詩碑前
11/21(木)～2/16(日)	(野田宇太郎没後40年事業) 企画展	テーマ「野田宇太郎推し物語」 ～すべては人生の師・木下柰太郎のために～
11/23(土)、1/19(日)	企画展ギャラリートーク	会場 野田宇太郎文学資料館展示室
12/3(火)	瀬戸内文学館連絡協議会学芸員・担当者研修会	会場 広島県福山市「ふくやま文学館」
2/8(土)	(野田宇太郎没後40年事業) 企画展 「野田宇太郎推し物語」記念講演会 演題「歩く人たちー木下柰太郎から野田宇太郎へー」	会場 生涯学習センター 市民ギャラリー 講師 井上洋子さん(福岡国際大学名誉教授)
3/30(日)	(野田宇太郎没後40年事業) 坂口博さん講演会「野田宇太郎と火野葦平」	会場 松崎公民館 講師 坂口博さん(火野葦平資料の会会長)

## 11. 小郡市図書館協議会

令和2年度	第87回 ・令和元年実績報告 ・令和2年度事業計画及び予算について(※1)
令和3年度	未開催
令和4年度	第88回 ・令和3年度実績報告 ・令和4年度予算及び事業計画について
	第89回 ・令和5年度事業計画及び予算について
令和5年度	第90回 ・令和4年度実績報告 ・令和5年度予算及び事業計画について
	第91回 ・令和6年度事業計画及び予算について
令和6年度	第92回 ・令和5年度実績報告 ・令和6年度予算及び事業計画について
	第93回 ・令和7年度事業計画及び予算について

第1回…昭和63年2月20日 以降、毎年1～2回開会

(※1) 新型コロナウイルス感染拡大防止措置により書面開催

## 12. 雑誌タイトル一覧

(☆：寄贈 ★：雑誌スポンサー)

(令和7年4月1日現在)

月刊誌	
(あ)	Akacyanと！(2024年11月号から受入) アニメージュ
(え)	★ 栄養と料理 ★ ESSE(本館/スポンサー寄贈、BM/自館購入) NHKきょうの健康 ★ NHKきょうの料理 ★ NHKきょうの料理ビギナーズ NHK趣味の園芸 NHKすてきにハンドメイド
(お)	男の隠れ家 音楽の友
(か)	CAR GRAPHIC 学校図書館 家庭画報
(き)	キネマ旬報
(く)	群像(2024年10月号まで受入)
(け)	芸術新潮 月刊クーヨン 月刊碁ワールド 月刊自家用車 ☆ 月刊武道 ☆ 月刊まちづくり(2024年9月号から受入) ☆ 健康365 現代詩手帖 現代農業
(こ)	☆ 国立国会図書館月報 子供の科学 子どもの本棚 GOLF DIGEST
(さ)	財界九州 サライ サンキュ！(2025年2月号から受入) 3分クッキング
(し)	JR時刻表 シティ情報ふくおか 将棋世界 小説新潮
(す)	SCREEN STORY すばる
(せ)	★ 正論 選択
(た)	DIME ダイヤモンド・ザイ ダ・ヴィンチ 短歌
(ち)	中央公論
(つ)	つり人(2025年2月号から受入) 釣ファン(2024年1月号をもって休刊)
(て)	鉄道ジャーナル(2025年6月号をもって休刊) ★ 天然生活
(と)	図書館雑誌
(な)	NATIONAL GEOGRAPHIC 日本版
(に)	nicola 日経TRENDY 日経マネー Newtype Newton ノジュール
(の)	non-no
(は)	俳句 母の友(2025年3月号をもって休刊) ハルメク Begin BE-PAL
(ひ)	婦人画報 ★ 婦人公論(本館/自館購入、BM/スポンサー寄贈)
(ふ)	文学界 ★ 文藝春秋(本館/スポンサー寄贈、BM/自館購入)
(ほ)	POPEYE 本の雑誌 ★ 毎日が発見(2024年4月号をもって休刊)
(ま)	☆ MAMOR 丸
(み)	みんなの図書館
(も)	MOE
(や)	山と溪谷
(ゆ)	ゆうゆう(2024年12月号から受入) ユリイカ
(ら)	ラジオ深夜便 ランナーズ
(り)	LEE
(れ)	歴史街道
(ろ)	ROCKIN' ON JAPAN

<p><b>【隔月・季刊誌】</b></p> <p>(あ) 明日の友 ☆ あとはとき 安心</p> <p>(う) ☆ with PETs うかたま(2024年冬号から受入)</p> <p>(え) ★ NHKやさいの時間</p> <p>(お) 大相撲中継(2025年初場所号から受入) オール讀物</p> <p>(か) 会社四季報 Garden&amp;Garden</p> <p>(き) ☆ 季刊iichiko ☆ 季刊午前 ★ 九州じゃらん(2025年4月号をもって休刊)</p> <p>(く) ku:nel 暮らしの手帖 CREA</p> <p>(け) げんき 現代の図書館</p> <p>(こ) ☆ 皇室 こどもとしょかん 子どもと読書 子どもと本</p> <p>(し) 四季の味(2019年夏号をもって休刊) 紙魚の手帖(2024年10月号から受入) ☆ 心理臨床の広場</p> <p>(す) 住まいの設計(2023年6月号をもって休刊)</p> <p>(そ) ソワニエ+</p> <p>(た) dancyu(2025年春号から季刊)</p> <p>(ち) ☆ 筑紫山脈</p> <p>(と) ドゥーパ!</p> <p>(に) ☆ 西日本文化 日本児童文学</p> <p>(へ) Baby-mo(2024年7月発刊分をもって休刊)</p> <p>(ほ) ☆ ほりわり</p> <p>(ま) ★ Mart(2024年春号以降は不定期刊行)</p> <p>(み) ☆ 南の風</p> <p>(や) 野菜だより</p> <p>(ら) レディブティック</p> <p>(わ) 私のカントリー(2025年4月発刊分から書籍受入)</p>	<p><b>【週刊誌】</b></p> <p>(あ) AERA an・an</p> <p>(さ) サンデー毎日</p> <p>(し) 週刊新潮 週刊ダイヤモンド(2025年4月5日号まで受入) 週刊東洋経済 週刊文春 週刊ベースボール</p> <p>(こ) Newsweek 日本版</p> <p><b>【隔週・月2刊誌】</b></p> <p>(お) オレンジページ</p> <p>(く) クロワッサン</p> <p>(す) ★ Sports Graphic Number</p> <p>(た) TIME Tarzan</p> <p>(は) ☆ Housing Tribune</p> <p>(ふ) BRUTUS PRESIDENT</p> <p><b>【集計】</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>タイトル数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>図書館購入</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>☆: 寄贈</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>★: 雑誌スポンサー</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>【バックナンバーの保存期間】</b></p> <p>週刊誌 1年間 月刊・隔週刊・月2刊誌 2年間 隔月刊・季刊・不定期刊誌 5年間</p>		タイトル数	図書館購入	111	☆: 寄贈	16	★: 雑誌スポンサー	13	合計	140
	タイトル数										
図書館購入	111										
☆: 寄贈	16										
★: 雑誌スポンサー	13										
合計	140										

**新聞一覧**

朝日新聞	朝・夕(2024年10月から夕刊廃止)	産経新聞	朝
西日本新聞	朝・夕	日刊スポーツ	朝
日本経済新聞	朝・夕	The Japan Times	
読売新聞	朝・夕		
毎日新聞	朝・夕		

※保存期間2年

※西日本スポーツは、2023年3月31日で紙面発行を休止され、WEB版へ移行

※日刊スポーツは、2023年4月1日から受入開始

## 13. 小郡市立図書館サービス基本方針

平成 2 年 3 月 2 2 日 小郡市図書館協議会答申  
平成 2 1 年 3 月 2 6 日 小郡市図書館協議会答申  
平成 2 7 年 3 月 2 6 日 小郡市図書館協議会答申  
平成 3 0 年 1 月 2 0 日 小郡市図書館協議会答申

### (目的)

第 1 条 この方針は、小郡市（以下「市」という。）における公立図書館による住民サービスの基本を図書館の設置及び運営上の望ましい基準を参酌し、定めるものである。

### (基本的姿勢)

第 2 条 すべての小郡市民（以下「市民」という。）は、市内のどこに住んでいようとも市が設置する図書館のサービスを等しく受ける権利を持っている。そのために市は、本館を置くとともに、地域の状況に応じて分館、分室、移動図書館等を設け、よりよいサービスを確立していくものとする。

### (館長及び職員)

第 3 条 住民がすぐれたサービスを受けるためには、図書館の職員が最も重要な要素である。特に、館長には図書館の運営及び行政に必要な知識・経験と司書資格を有する者を任命することが望ましい。

2 図書館の資料を使って住民サービスを行う専門職員が司書（司書補）であり、司書が十分に確保されてこそ先の住民サービスが可能になる。

### (利用者に対する責任)

第 4 条 図書館の職員は、常に自由で公平で積極的な資料提供に心がけ、利用者をその社会的身分、国籍、信条、性別、年齢等によって差別してはならない。また、資料や施設の提供を通じて知りえた利用者の秘密を漏らしてはならない。

### (研修)

第 5 条 すぐれたサービスをするためには、利用者を知り、資料を知り、利用者と資料を結びつけるための資料の適切な組織化と提供の知識・技術を究明しなければならない。そのために、個人的、集団的に日常不断の研修が必要であり、市は職員に対して研修の機会を与えなければならない。

### (サービス網)

第 6 条 すべての市民が図書館のサービスを受けるためには、市内全域が図書館のサービス網によっておおわれなければならない。サービス網とはすなわち、本館・分館・分室・移動図書館からなるサービス組織の総体である。

- (1) 本館は、市における図書館サービスの中核であり、また図書館資料の補給基地であり、他市町村、県立・国立国会及び大学図書館等の相互協力の窓口を担当する。
- (2) 分館は、日常生活において市民の集中する地点に設けられることが望ましく、生活圏から分館までの距離はおよそ 1.5 km 以内を目安にする。
- (3) 分室は、分館をつくるほどの地域人口がなく、特定の時間に利用が集中することで、終日開館よりも開館日及び開館時間を限定する方式が望ましい地域に設置される。
- (4) 移動図書館は、地域人口が少なく、分館・分室を設置する適当な場所が見つけられない地域

に2週間ごとに巡回して図書館サービスを行う。移動図書館は、学校・幼稚園・保育園（所）・病院など利用者が集まっている施設を巡回して貸出を行う方法が望まれる。ただし、分館・分室が設置されればその地域の移動図書館のステーションは廃止し、別な地域に設置する。

#### (運営)

第7条 市立図書館の運営の基本は次のサービスである。

##### (1) 貸出

貸出は、資料を求める人に一定期間その資料を貸すことであり、図書館の最も単純な、最も基本的な、最も原初的な形である。

- ① 個人貸出は、市民にとっては図書館を最も利用しやすい方法であり、大多数の利用者が一番望んでいる利用の形である。これは、市立図書館の最も基本的な業務である。
- ② 団体貸出は、市内で主体的・継続的に読書活動が行われる機関・施設や、市民グループや図書館同種施設である文庫等に対して、まとまった数の資料を提供するものである。その利用普及のためには広報が必要である。

##### (2) 参考業務

参考業務は、貸出と並んで、市立図書館における主要な業務であり、貸出の基礎の上に築かれている。日常生活に密接した資料情報とともに、郷土に関する資料・情報の提供は特に重視されなければならない。参考資料をおき参考業務を行うための参考室（コーナー）は、本館には必ず必要である。

##### (3) 児童へのサービス

児童に対する図書館サービスは、成人に対するサービスと同じように、市立図書館において欠くことのできない業務である。児童に読書習慣をつけ、すぐれた出版物に不断に触れさせることも大切な任務である。このような児童へのサービスを行うため、本館・分館ともに児童室（コーナー）を設置し、特に訓練された司書を配置する必要がある。

##### (4) 集会活動

図書館の集会機能は、市民の自主的な学習活動を援助するために必要であり、図書館資料を使う集会活動に対しては積極的に援助していくように心がけねばならない。

##### (5) 行事

多彩な図書館資料を紹介したり、利用の促進及び未利用者を図書館利用に結びつけるための行事などは、図書館本来の機能である資料提供を損なわないように留意して実施する。文化会館での催し物に対しては、資料の紹介・利用の促進ということで積極的に協力する。

##### (6) 関係機関との連携・協力

市立図書館が、多様化する利用者及び住民の要望に対応するとともに、利用者及び住民の学習活動を支援する機能の充実を図るためには、資料や情報の相互利用などの他の施設・団体等との積極的協力が必要である。また、地域の知の拠点として地域の課題解決に取り組んでいくためには、国立国会図書館をはじめとするさまざまな図書館や行政機関、教育機関、民間団体等との連携も必要である。

##### (7) ボランティア活動

市立図書館での読み聞かせや布の絵本の製作、家庭や地域における文庫活動などのボランティア活動は、市民の学習成果の活用場であり、自己実現の場であり、図書館サービスの充実にも繋がる。これらの活動が円滑に行くためには研修の実施などの支援が必要である。

#### (資料)

第8条 市立図書館の資料は、その新鮮さの維持こそ市民にとって最大の魅力である。このために市は、資料費として人口一人当たり250円を下らないように努めるべきである。

#### (施設)

第9条 本館の規模は、次のような事項によって決定される。

- (1) 全域に対する図書館サービスの体制（分館の数と規模及び移動図書館の活動）
  - (2) 資料の保有量及び年間増加
  - (3) 貸出業務、児童サービス及び集会活動
- 2 分館の規模は、その地域の対象人口によって異なるが、500㎡を下らないことが望ましい。
- 3 分室は、既設の一部、あるいは新設のコーナーを使うので、職員体制により検討すべきである。

#### (図書館の利用に困難がある人たちへのサービス)

第10条 図書館の利用に困難がある人たちへのサービスは、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律に基づき、下記のとおり行う。

##### (1) 病院サービス

図書館を利用したくてもできない入院患者及び不規則な勤務状態にある医師・看護師等への図書館サービスを実現させ、市内どこにいても図書館を利用できるように移動図書館による病院サービスを行う。

##### (2) 録音図書サービス

録音図書によるサービスについては、県立図書館及び近隣の図書館の録音図書サービスを利用者が直接受けられるように手続きをとることを基本とし、自宅配達（以下、「宅配」という。）によるサービスを行う。

##### (3) 宅配サービス

身体的な理由により図書館の利用に困難がある人（高齢者を含む）に対しては、その人の状況を市立図書館が認定した上で、図書等の宅配によるサービスを行う。

##### (4) その他のサービス

上記のサービス以外にも、日本語を母国語としない人や施設に入居している人など図書館の利用や読書をするに関して、さまざまな困難がある人へのサービスにも取り組む。

#### (高齢者へのサービス)

第11条 高齢者に対して、趣味・教養・娯楽に関する資料を積極的に収集するとともに、医学や介護に関する初歩知識が得られる実用書等の収集に留意する。

#### (学校図書館等への支援及び連携)

第12条 学校及び学校図書館から資料の貸借、資料の相談等の依頼への対応は、学校教育に対する支援であり、小郡市学校図書館支援センターと連携して積極的に対応する。

#### (乳幼児とその保護者へのサービス)

第13条 ブックスタートは、絵本を通しての親子のふれあいと読書への親しみを育む事業として、市健康課主催の乳幼児健診時に市立図書館が実施する。必要に応じて、福岡女学院との協定書に基づき、関係機関が協力してアンケート調査を実施し、この事業の効果について検証する。

**(家読)**

第14条 家読は、本を介した家族間のコミュニケーションを推奨する運動である。市立図書館は家読を推進し、家庭での読書環境が整備されるような取り組みを行う。

**(図書館海援隊)**

第15条 図書館海援隊は、平成21年度に文部科学省が全国の公共図書館に呼びかけた市民生活の身近な課題を解決する取り組みである。この中でも市立図書館は、小郡市ふるさとハローワークや市商工企業立地課と協働して、就業支援を行う。

**(野田宇太郎文学資料館コレクション)**

第16条 郷土出身の故・野田宇太郎氏の蔵書を基にした野田宇太郎文学資料館については、市立図書館の貴重なコレクションとして今後も、氏に関する資料等について収集するとともに広く公共のために役立てるように情報の発信に努める。

**(三市一町図書館協力事業)**

第17条 筑後川流域クロスロード協議会を構成する久留米市・鳥栖市・基山町の図書館と、連絡車運行、合同研修、共同展示、資料の相互貸借、住民の相互利用及び情報交換といった協力事業を積極的に行う。

**(著作権等の権利の保護)**

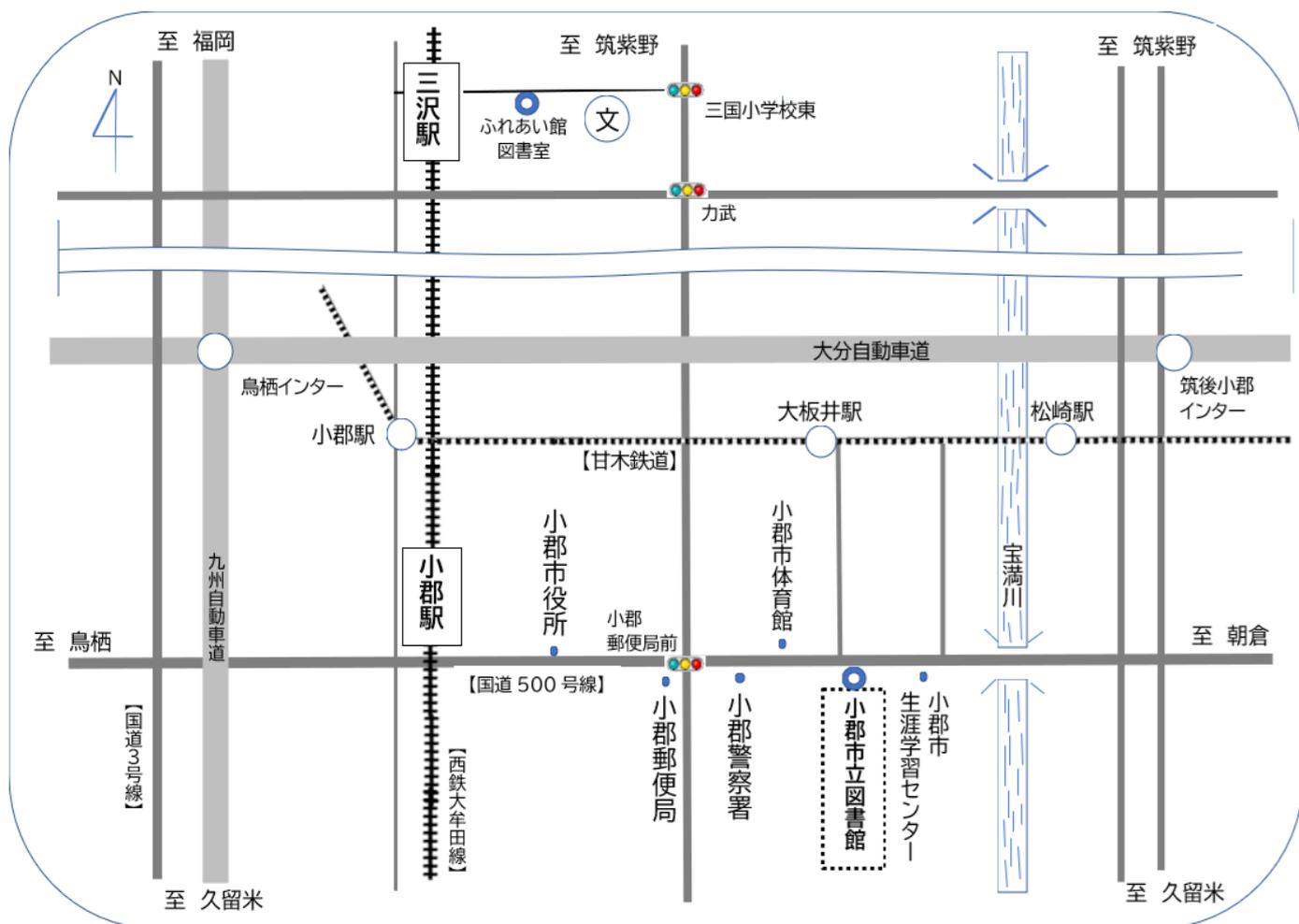
第18条 市立図書館の運営に当たって、知的財産である著作権が侵害されることがないように著作権法を順守する。

**(危機管理)**

第19条 危機管理は、事故、災害その他非常の事態による被害を防止するために、手引書の作成や定期的な訓練等を実施する。また、利用者の安全の確保のため、防災上及び衛生上必要な設備を整えるものとする。

**(図書館活動の諸目標)**

第20条 年度ごとに策定される教育施策実施計画に図書館活動の目標を設定して、運営に努める。実施にあたっては、市役所・図書館協議会並びに県内の各公共図書館の協力・理解を図っていく。目標の設定にあっては、小郡市子ども読書活動推進計画及び小郡市総合振興計画を踏まえ、図書館協議会の意見を聞くものとする。



**【九州自動車道】**

小郡 IC から国道 500 号線経由で 15 分

**【西鉄電車】**

小郡駅から徒歩 15 分

**【甘木鉄道】**

大板井駅から徒歩 3 分

**小郡市立図書館**

(TEL) 0942-72-4319 (FAX) 0942-72-3501

**野田宇太郎文学資料館**

(TEL) 0942-72-7477 (FAX) 0942-72-3501

〒838-0142 福岡県小郡市大板井 136 番地 1

<http://www.library-ogori.jp>

令和 7 年 8 月 発行